

(別紙様式2)

令和5年度 新宿区学童クラブ待機児童対策計画

令和4年5月1日時点の学童クラブ待機児童数

41人

1 学童クラブの待機児童が発生している原因

都心であることから利便性が高く、マンション等の建設も相次いでいることにより、人口が流入している。
また、家賃等が高いため共働き世帯の割合が高く、学童クラブの利用対象となる児童が増えている。

2 学童クラブの待機児童を解消するための対策

(1) 方針

区有施設の活用や、民間物件の借り上げ等を行い、新たな学童クラブの活動場所を確保する。
また、学童クラブ機能付き放課後子どもひろば「ひろばプラス」を実施することで、多様化する家庭環境や子供の成長段階にあった放課後の居場所が選択できるようにする。

(2) 具体策

今後、学童クラブの登録者数がさらに増加する可能性を考慮し、現時点で活用可能な小学校や中学校等の区有施設の学童クラブへの活用を推進するとともに、教育委員会と綿密な調整を行い、さらなる拡充を検討する。

- 区立幼稚園施設の活用により学童クラブスペースを整備し、戸塚第一小学校内学童クラブを新設
- 落合第五小学校内の空きスペースを活用することにより、学童クラブスペースを整備し、落合第五小学校内学童クラブの実施場所を追加
- 区立中学校施設の活用により学童クラブスペースを整備し、早稲田南町学童クラブの実施場所を追加

3 「学童クラブの待機児童を解消するための対策」を講じることによる効果

実施場所の拡充により待機児童数が減り、定員超過となっている現状の緩和がなされる。
また、利用児童の環境が改善され、より望ましい保育が行える。

4 これまでの推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
小学生児童数	9,610	9,913	10,226	10,490	10,721
増減	—	303	313	264	231
登録児童数	1,676	1,815	1,875	2,002	2,018
増減	—	139	60	127	16
待機児童数	40	46	46	35	56
増減	—	6	0	▲ 11	21

5 今後の見込

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
小学生児童数	10753	10828	11092	
増減	32	75	264	
登録児童数	2196	2241	2278	
増減	178	45	37	
確保策の手法 (当該年度に新規で実施する手法)				
待機児童数	41	27	0	
増減	▲ 15	▲ 14	▲ 27	▲ 56